

私立大 定員割れ大学数は2年連続で減少

河合塾

2018/8/8

日本私立学校振興・共済事業団がこのほど2018年度の私立大学・短期大学の入学志願動向の調査結果を発表した。志願者数は大学で増加、短期大学で減少した。なお、入学者数が入学定員を下回る定員割れの学校数は、大学では2年連続で減少した一方、短期大学では昨春の減少から今春は増加に転じた。以下、調査結果から浮かび上がった2018年度入試の特徴を振り返る。

■私立大の延べ志願者数は6年連続増加

2018年度の私立大の延べ志願者数は4,158,495人で、前年より約27万6千人増加（前年比107.1%）と大きく増加した【表1】。私立大では近年、複数方式に出願した際の受験料割引や一度の出願で複数学部・学科を併願できる仕組みを導入する大学が増加しており、受験生一人あたりの出願校数が増加している。これが私立大の志願者増加の要因である。

一方、合格者数は1,211,499人で、前年より約2万7千人減（前年比97.8%）と、2年連続での減少となった。私立大では、入学者数が定員を大幅に上回ると国からの補助金不交付となるほか、学部新設が認められないといったルールがある。これらの基準となる入学定員超過率が年々厳格化されており、都市部の大規模私立大を中心に定員超過を是正する動きがみられる。これが私立大合格者数減少の大きな要因となっている。また、こうした動きに伴う私立大入試の難化による安全志向が、出願数増加に拍車をかけている面もある。

なお、私立短期大の志願者数は前年より約2千7百人減の75,629人であった【表2】。入学者数も約2千2百人減の51,214人となった。短期大は今春も3校の募集停止により、入学定員は約1千人減少したが、入学者数はそれ以上に高い割合で減少しており、定員充足率は88.1%と前年からダウンした。

■定員割れ大学は19校減、210校に

【グラフ3】は私立大の定員割れ学校数の推移である。

定員割れ大学の割合は1990年代後半から徐々に上昇し、2000年代前半には約3割で推移していた。2006年度から再び上昇をはじめ、半数に迫る40%

【表1】私立大入試の実施状況

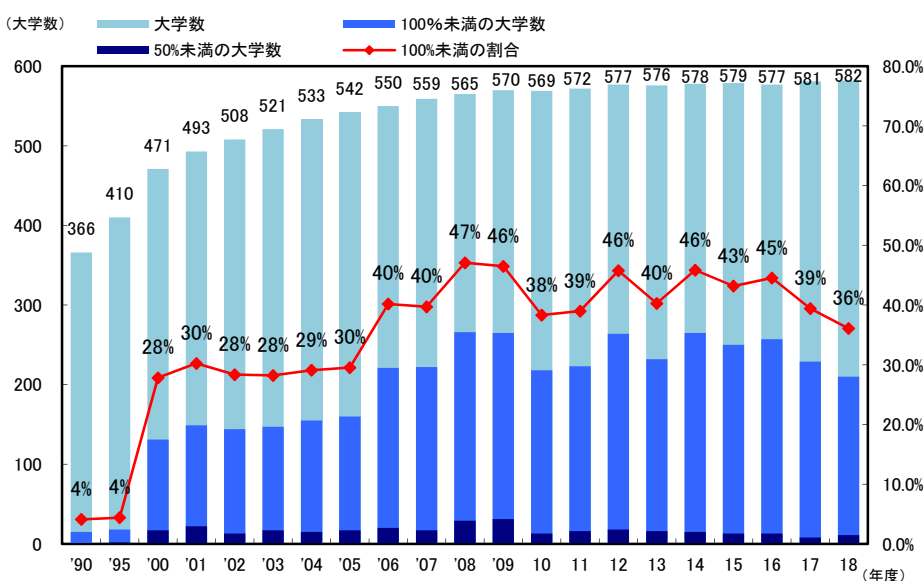
年度	大学数	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	定員充足率
09	570	449,819	3,071,570	2,952,654	1,039,316	479,156	106.5%
10	569	450,816	3,178,078	3,062,895	1,054,804	489,030	108.5%
11	572	452,997	3,210,052	3,091,333	1,079,546	481,959	106.4%
12	577	455,780	3,198,128	3,074,603	1,117,758	474,893	104.2%
13	576	458,456	3,390,069	3,266,422	1,147,178	483,957	105.6%
14	578	460,251	3,464,428	3,329,843	1,195,738	477,630	103.8%
15	579	463,697	3,513,499	3,376,430	1,241,262	487,064	105.0%
16	577	467,494	3,629,273	3,489,799	1,245,865	488,210	104.4%
17	581	477,662	3,882,572	3,732,227	1,238,559	499,677	104.6%
18	582	484,986	4,158,495	3,999,532	1,211,499	497,773	102.6%

※日本私立学校振興・共済事業団資料より(表2～表6も同様)

【表2】私立短大入試の実施状況

年度	大学数	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	定員充足率
09	356	79,267	104,567	102,520	85,911	69,075	87.1%
10	344	75,166	105,458	103,552	84,222	68,305	90.9%
11	338	72,369	102,701	100,580	79,858	64,862	89.6%
12	330	68,899	96,664	94,681	74,918	60,678	88.1%
13	324	66,564	98,087	96,011	75,077	61,296	92.1%
14	320	64,664	93,377	91,398	72,672	58,561	90.6%
15	315	62,464	89,349	87,680	71,585	57,951	92.8%
16	311	61,251	83,116	80,684	67,381	55,171	90.1%
17	304	59,116	78,338	76,130	64,244	53,389	90.3%
18	301	58,161	75,629	73,494	61,904	51,214	88.1%

【グラフ3】私立大 定員割れ学校数の推移



台後半となった年もあった。

定員割れの割合はここ2年ダウンしており、今春は36%にまで下降した。前述の都市部大規模大で定員超過正の動きがあることから、第2志望、第3志望の大学に入学した受験生も多かったのではないかと推察される。ただし、定員充足率50%未満となっている大学数は、3校増加して11校となっており、一部の大学では深刻度が増している。

私立短期大の定員割れ学校数は昨年より8校増加の212校となった。これにより定員割れ短期大の割合は7割を超えた。

■定員充足率は大規模大、都市部を中心にダウン、定員超過率厳格化の影響

【表4】は定員充足率を大学の規模別にみたものである。入学定員4百人を境に、定員規模の大きい大学群では充足率が100%を超えている一方で、規模の小さい大学群では定員割れとなっている。とくに2百人未満の大学群で充足率が低くなっており、学生確保に厳しい状況が続いている。なお、前述の入学定員超過率の厳格化の影響が大きいのは、入学定員1千人以上の大学である。定員1千人以上の大学群ではいずれも定員充足率は是正されてきているが、なかでも1千5百人以上3千人未満の大学で充足率は昨年の108.5%から105.0%とダウン、また3千人以上の大学で106.0%から100.6%へと大きく下がっている。

地域別で充足率が高いのは、北関東、南関東、東京、北陸、東海、近畿、九州などの地区である【表5】。なお、東京は前年の107.3%から3.6ポイント、京都・大阪は前年の105.5%から4.0ポイントダウンした。前述の定員規模の大きい大学は都市部に多いことが影響している。一方、北海道、甲信越、中国、四国では充足率は100%を割り込む。なかでも四国の充足率は88.6%と1割以上割り込んでいる。

【表4】私立大 規模別 定員充足率

入学定員規模	大学数	入学定員	入学者数	定員充足率
100人未満	34	2,488	2,304	92.6%
100人以上200人未満	101	14,207	13,612	95.8%
200人以上300人未満	89	21,350	21,213	99.4%
300人以上400人未満	69	23,894	23,474	98.2%
400人以上500人未満	37	16,332	16,465	100.8%
500人以上600人未満	45	24,221	25,113	103.7%
600人以上800人未満	45	30,832	31,953	103.6%
800人以上1,000人未満	32	29,163	31,910	109.4%
1,000人以上1,500人未満	50	62,608	65,304	104.3%
1,500人以上3,000人未満	56	114,982	120,685	105.0%
3,000人以上	24	144,909	145,740	100.6%
合計	582	484,986	497,773	102.6%

【表5】私立大 地域別 定員充足率

地域	大学数	入学定員	入学者数	定員充足率
北海道	25	11,070	10,931	98.7%
東北	33	13,428	13,422	100.0%
北関東	24	11,182	11,680	104.5%
南関東(東京除く)	75	54,218	56,504	104.2%
東京	114	179,549	186,116	103.7%
甲信越	20	5,192	5,049	97.2%
北陸	12	5,373	5,549	103.3%
東海	63	44,207	45,759	103.5%
京都・大阪	76	81,022	82,276	101.5%
近畿(京都・大阪除く)	43	26,931	27,770	103.1%
中国	36	17,830	17,223	96.6%
四国	7	4,130	3,661	88.6%
九州	54	30,854	31,833	103.2%
合計	582	484,986	497,773	102.6%

■文系は志願倍率上昇続く、歯学・薬学・農学・家政学では定員充足率が100%を割り込む

学部系統別の状況では、医学で志願倍率(28.9倍)が飛び抜けている【表6】。このほか理系の学部では、理・工学系で志願者が増加し志願倍率は11.8倍(前年11.3倍)と上昇した。一方、農学系では志願者が減少し志願倍率は10.0倍(前年11.0倍)とダウンした。定員充足率が100%を割り込んでいるのは前述の農学系に加え、歯学、薬学、家政学である。歯学の定員充足率は81.3%と全学部系統でも飛び抜けて低い。また、薬学は志願倍率が高いにもかかわらず、定員充足率は100%を割り込むという結果になった。

一方、今春も文系学部が人気となっており、人文科学系、社会科学系のいずれも志願者が大きく増加した。人文科学系では、志願倍率が0.9ポイントアップの8.8倍、社会科学系では0.7ポイントアップの9.2倍まで上昇した。

【表6】私立大 学部系統別の入試動向

学部系統	学部数	入学定員	志願者数	入学者数	志願倍率	定員充足率
医学	31	4,100	118,463	4,134	28.9	100.8%
歯学	17	2,063	9,332	1,677	4.5	81.3%
薬学	57	11,451	96,008	10,949	8.4	95.6%
保健系	220	34,307	185,322	34,669	5.4	101.1%
理・工学系	150	61,917	728,042	62,876	11.8	101.5%
農学系	21	8,309	83,392	8,256	10.0	99.4%
人文科学系	245	69,738	616,582	72,518	8.8	104.0%
社会科学系	513	169,202	1,557,832	176,801	9.2	104.5%
家政学	81	17,254	77,099	16,816	4.5	97.5%
教育学	94	16,678	108,370	16,722	6.5	100.3%
体育学	11	5,043	16,172	5,368	3.2	106.4%
芸術学	56	14,310	47,342	14,621	3.3	102.2%
その他	280	70,614	514,539	72,366	7.3	102.5%
合計	1,776	484,986	4,158,495	497,773	8.6	102.6%